

教育長が令和5年度からの重点的な取組を説明します ～「やる気につながる好奇心」を育むために～

教育長が教育委員会の取組のキーワードである「やる気につながる好奇心の醸成」を基軸とした施策の方向性について説明します。

なお、教育長がレク付きで説明するのは、今回が初めての試みです。

1 日時

令和5年5月12日(金)11時～11時30分

2 場所

岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

3 内容

資料1 教育委員会の施策の方向性

○「やる気につながる好奇心の醸成」について

「やる気につながる好奇心」は、子どもがものごとに対して抱く疑問や興味、関心のことで、学習に向かう原動力になるものです。

- ・ 好奇心を「引き出す」ための多様な人、自然や文化と関わる体験活動を充実します。
- ・ リーフレットの配付等を通じ、好奇心を「広げる」ための家庭への支援を充実します。
- ・ 教員の指導力向上を図り、子どもが学習の充実感等を実感できる授業づくりを進めます。

○「持続的な教育の好循環の創出」について

子ども、教職員にとって、学校が安全安心で快適な学びの場となるために、「学校園環境の充実」、「多様な人材の確保」、「核となる人材の育成」に一体的に取り組みます。

- ・ 整備が完了した普通教室に加え、今まで空調施設がついていなかった特別教室への空調設備を整備します。
- ・ 教職員がこれまで以上に「子どもと向き合う時間」を充実させるため、今まで学校で行っていた給食費の公会計化を進めます。
- ・ 新教育研究研修センター(仮称)の整備に向けた事務に取り組む予定です。

4 その他

詳細は別紙にて、ご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 教育企画総務課 仲宗根・山本 直通086-803-1571 内線3812・3813

柱1

やる気につながる好奇心の醸成

「やる気につながる好奇心」とは、子どもが本来もっている、人との関わりや様々な活動の中でおもしろがったり、「どうして?」と知りたくなったりする気持ちのことで、子どもが学びに向かう原動力になるものです。この「やる気につながる好奇心」を育てていくためには、子どもが人や自然、文化などとの関わりを通じた気付きを実感できるようにし、それを学ぶ意欲につなげていくことが最も重要です。

岡山市が目指す子どもの育成に向けて、子どもの好奇心を引き出し、広げ、やる気につながることを繰り返していくことに、令和5~7年度の3年間、重点的に取り組みます。

◎: 拡充事業 ★: 新規事業

創る

好奇心を引き出す
体験活動の充実

- ★めだかの学校における展示等施設の充実【生涯学習課】
高精細動画による新たな展示や、展示解説システムの導入
- ・ わくわく探険隊【地域子育て支援課】
初めて出会う人たちと協力して行う、自然の中での体験活動の実施
- ・ 文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用【文化財課】
埋蔵文化財センターにおける夏休み期間中の勾玉づくり等体験講座の実施
- ★オリент美術館学校連携推進事業【オリент美術館】
子どもが鑑賞に親しむための、ICTを活用した情報可視化ツールの導入
- ・ 運動習慣定着化事業【保健体育課】
子どもが日常的、自発的に運動に取り組むための運動取組カードの作成、配布

応える

- ・ 家庭教育支援事業【生涯学習課】
家庭教育に関するリーフレット作成、イベントの開催
- ・ 絵本の読み聞かせ事業【中央図書館】
絵本の選び方、読み聞かせに関するアドバイス等を記載した資料の配布
- ・ 子育て支援「のびのび親子広場」事業【幼保運営課】
未就園児が園で遊ぶ機会や、参加した保護者への子育て情報の提供

好奇心を広げるための
家庭への支援の充実

高める

子どもの
好奇心

- ・ 学びづくり推進プロジェクト【学校指導課】
学校の授業改善と授業の振り返りの取組を推進する授業モデルのリーフレットの活用
- ・ 共に生きる子どもを育てる障害児支援事業【教育支援課】
特別支援教育の視点を生かした効果的な指導方法や指導内容の研究・普及
- ◎ICT環境整備事業(保護者連絡ツールの新規導入を含む)【教育研究研修センター】
1人1台端末などのICT環境の充実に向けた学校ICTヘルプデスクの機能拡充等

好奇心をやる気につなげる
教員の指導力向上

急速に変化する教育環境の中で、目指す子どもを育成していくためには、教職員の資質・能力の向上とともに、学校園が、子どもにとっても教職員にとっても、安全安心で快適な学びの場でなくてはなりません。

そのため、「**学校園環境の充実**」を図ることが「**多様な人材の確保**」につながり、「**核となる人材の育成**」がさらに充実した学校園環境につながっていくという好循環を生み出し、教職員がこれまで以上に「子どもに向き合う時間」を充実させることができる環境づくりを進めます。

○好循環のイメージ

◎:拡充事業 ★:新規事業

(1) 学校園環境の充実

安全安心で快適な学びの環境づくりに向けた物的・人的等の支援

主に政策1、4、5

- ◎部活動指導員配置事業(部活動地域移行モデル事業を含む)【保健体育課】
教職員の負担軽減と部活動の充実を目的とした部活動指導員の配置
休日部活動の地域移行に向けたモデル事業の実施
- ◎学校給食費の公会計化【保健体育課】
教職員の負担軽減を目的とした給食会計の公会計化
- ◎学校空調設備整備事業【学校施設課】
小中学校の特別教室等への空調設備の整備

充実した学校園・職場環境を創出する

(2) 多様な人材の確保

新規卒業者、教職経験者など、様々な人材の採用に係る取組

主に政策5

- ◎魅力ある教員の確保事業【教職員課】
積極的な求人情報発信、説明会(オンラインを含む)の実施
選考時期や実施方法の見直し、初任者の給与改善

魅力ある学校園・職場に人材が集まる

(3) 核となる人材の育成

研修の充実に向けた施設整備及び研修システムの構築

主に政策5

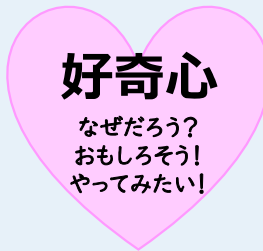
- ・OJT若手教員育成支援プロジェクト【教育研究研修センター】
OJT支援員による若手教員への直接支援
若手教員育成支援体制の構築・充実
- ・教職員の力量を高める教育研究事業【教育研究研修センター】
校内研修の活性化のための研究成果物の活用促進
- ★新教育研究研修センター(仮称)整備事業【教育研究研修センター】
整備に向けた基本設計及び地質調査契約に向けた事務
教職員の資質向上に向けた個別最適な研修実施環境の整備

資質・能力のある、
多様な経験をもつ
人材が次々と育つ

子どもの好奇心を引き出し、広げ、やる気につなげる

◆「やる気につながる好奇心」とは

子どもが本来もっている、ものごとに対する素朴な疑問や興味・関心などのことで、子どもが学習に向かう原動力になるものです。



人や自然、文化などとの関わり

自分のこととして考える



活用力

表現力

向上心

など

◆好奇心を引き出し、広げるために

家庭での会話や体験を通して、子どもの意識を様々なものに向けることが大切です。次に紹介しているのは、岡山市が行っている取組の一部です。子どもが新たなことに興味を抱いたり、もう少し詳しく知ったりするきっかけにいただければと思います。

「めだかの学校」(生涯学習課)

めだかや天然記念物のアユモドキなど、様々な淡水魚について学ぶことができます。令和5年秋頃(予定)からは、魚の細かなところまで観察できる動画を上映します。

所在地：岡山市北区建部町建部上609
連絡先：086-722-1231



おもしろそう!

見に行こう!

やってみよう!



なぜだろう?

やってみたい!

見に行こう!

参加しよう!

「千足古墳」(文化財課)

造山古墳の近くにあり、上から見るとホタテ貝のような形をした古墳です。整備が完了し次第(令和5年5月頃)、一般公開する予定です。

所在地：岡山市北区新庄下



「わくわく探険隊」

(地域子育て支援課)

広大な自然の中で、初めて出会う人たちと様々な体験活動を行います。写真はキャンプファイヤーの様子です。

対象：小学4～6年生

案内：6月頃、学校から配付されます。



子どもの好奇心を引き出し、広げ、やる気につなげる

◆子どもの好奇心をやる気につなげる学校の取組

子どもの好奇心をやる気につなげ、さらには活用力や表現力などを身に付けることができるよう、学校では、教師の問いかけや学習形態（個人／ペア／グループ学習）を工夫しています。

何を学ぶのかを **つかむ** ために

●●●と
▲▲▲との
違いは
何かな？



…すると、
どうなる
と思う？

教師の問いかけなどから、「なぜだろう」と疑問をもったり、「知りたい」という意欲を高めたりする。

次の授業に **つなげる** ために

…について、
もっと知りたいな。



…すると、前より
上手にできた。

授業を振り返ることで、「話し合うことの良さ」や「分かる楽しさ」などを実感する。

自分の考えを **もつ** ために



なぜ、そう
考えたの？

他の考え方
はないかな？

ノートやChromebookを見返すなどして、これまでの学習や経験をもとに自分の考えをもつ。

考えを **広げ深める** ために

なるほど



私の考えは
……です。

友達の考えとの共通点や相違点に気付いたり、自分の考えをより確かなものにしたりする。

◆子どもの疑問に「こたえる」

小さな子どもは様々なことに好奇心を抱き、「なぜ?」「どうして?」と聞いてきますが、大きくなるにつれて、徐々に質問なくなってしまう。質問が難しくなってくると、大人もどう答えてよいか分からず、つい避けてしまうようなことがあるのではないのでしょうか。

あなたなら、どう「こたえ」ますか？

なんで勉強
せんといけんの？



将来のことが不安なのかな…
大人になったら分かると思うけど、
どう伝えようかな…

子どもの疑問に「答える」ことができればいいのですが、どう答えようか悩むこともあります。そのようなときには、疑問に思った子どもの気持ちに「応える」ようにしてみてもいいのでしょうか。気持ちを受けとってもらった子どもは、きっと次も話をしてくれると思います。

岡山市の重点的な取組(R5～R7)

岡山市は「やる気につながる好奇心」を育みます!

「やる気につながる好奇心」は、ものごとに対する素朴な疑問や興味・関心など、子どもが学習に向かう原動力になるものです。これは、体験や他者との関わりを通して育まれるものと考えています。

コロナ禍の3年間、体験や他者と対話する機会が減少し、子どもたちは思いっきり自分を表現することができにくかっただろうと思います。

教育委員会では、令和5年度から「やる気につながる好奇心」を育むため、様々な取組を充実させていきます。

「チーム岡山市」で
がんばります!



科学の発展などにより、社会がすごいスピード
で変わっていくこれからの時代には、自分で考えて
行動する力が必要になります。

私は、みなさんに自分で考えて行動できる人にな
ってほしいと思っていますが、その近道は、何か
にチャレンジ(挑戦)してみることだと思います。

みなさんは、「知りたい」「やってみたい」という
気持ちをもつことがあると思いますが、それこそが
新しいことにチャレンジするエネルギーとなります。
そして、チャレンジすることで、次の新たな「し
たい」思いが生まれてきます。

みなさんのチャレンジを楽しみに、応援していま
す。

きょうみ
興味のあることに
チャレンジしよう!



教育長メッセージ ～保護者や地域の皆様へ～

子どもへの関わりと
体験の充実をお願いします。



ご家庭や地域で、「今日、学校どうだった？」という学校生活や、最近のニュースなど、日常生活や世の中の出来事についての会話はあるでしょうか。

また、コロナ禍で思うようにいかなかった、子どもの地域や学校での体験の機会は、少しずつ回復してきているでしょうか。

子ども時代に、家族や友達だけでなく、多様な他者と関わったり、自然を五感で感じたりすることはとても重要です。

教育委員会では、子どもの体験活動を応援する取組を行っています。ぜひ、活用していただくとともに、地域の皆様には、子どもたちに積極的に声をかけたり、子どもの地域での体験を後押ししたりしていただくと幸いです。

令和5年3月

